

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成31年4月25日 (2019.4.25)

【公表番号】特表2018-510836(P2018-510836A)

【公表日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-015

【出願番号】特願2017-550137(P2017-550137)

【国際特許分類】

C 0 3 C 3/087 (2006.01)

C 0 3 C 3/078 (2006.01)

H 0 1 L 31/0392 (2006.01)

H 0 1 L 31/0749 (2012.01)

H 0 1 L 31/073 (2012.01)

C 0 3 B 18/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 C 3/087

C 0 3 C 3/078

H 0 1 L 31/04 2 8 4

H 0 1 L 31/06 4 6 0

H 0 1 L 31/06 4 2 0

C 0 3 B 18/02

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月14日 (2019.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の酸化物（重量パーセント）：

S i O₂ 6 1 ～ 6 9 %

A l₂ O₃ 0 ～ 8 %

N a₂ O 1 0 ～ 1 3 %

K₂ O 0 ～ 1 %

M g O 2 ～ 6 %

C a O 7 ～ 1 3 %

S r O 0 ～ 1 %

Z r O₂ 2 ～ 1 3 %

T i O₂ 0 ～ 1 %

を含む組成を有するガラス。

【請求項 2】

3 ～ 1 2 % の Z r O₂、好ましくは、3 ～ 1 1 % の Z r O₂、より好ましくは、4 ～ 1 0 % の Z r O₂、最も好ましくは、6 ～ 1 0 % の Z r O₂ を含む、請求項 1 に記載のガラス。

【請求項 3】

5 7 0 超、好ましくは、5 8 0 超、より好ましくは、5 9 0 超の歪み点を有する

、請求項 1 または請求項 2 に記載のガラス。

【請求項 4】

1 5 0 0 未満、好ましくは、1 4 8 0 未満、より好ましくは、1 4 6 0 未満の溶解温度（粘度 = 1 0 g 2 ポアズ）を有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項 5】

1 2 0 0 未満、好ましくは、1 1 8 0 未満、より好ましくは、1 1 6 0 未満、さらにより好ましくは、1 1 4 0 未満、なおより好ましくは、1 1 2 0 未満、最も好ましくは、1 1 0 0 未満の液相線温度を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項 6】

- 1 0 0 超、好ましくは、- 8 0 超、より好ましくは、- 6 0 超、さらにより好ましくは、- 4 0 超、なおより好ましくは、- 2 0 超、最も好ましくは、0 超の作業温度範囲（T l o g 4 ポアズから液相線温度を引いたものとして定義される）を有する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項 7】

$70 \sim 90 \times 10^{-7} \sim 1 (50 \sim 350)$ 、好ましくは、 $74 \sim 86 \times 10^{-7} \sim 1 (50 \sim 350)$ の熱膨張率を有する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項 8】

2 5 で $2.50 \sim 2.70 \text{ g cm}^{-3}$ 、好ましくは、2 5 で $2.52 \sim 2.68 \text{ g cm}^{-3}$ 、より好ましくは、2 5 で $2.54 \sim 2.66 \text{ g cm}^{-3}$ の密度を有する、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項 9】

1.50 ~ 1.62、好ましくは、1.52 ~ 1.59、より好ましくは、1.53 ~ 1.58 の屈折率を有する、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のガラス。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のガラスから形成される、ガラス板。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のガラスを含む、ガラス基板。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のガラス基板を備える、光起電力電池。